一陽齋豊國画
十編下
一名八犬傳
犬の艸紙
笠亭仙果鈔錄
犬山
十編上
蔦吉板

雪海芳譚
犬之双參
十編上冊

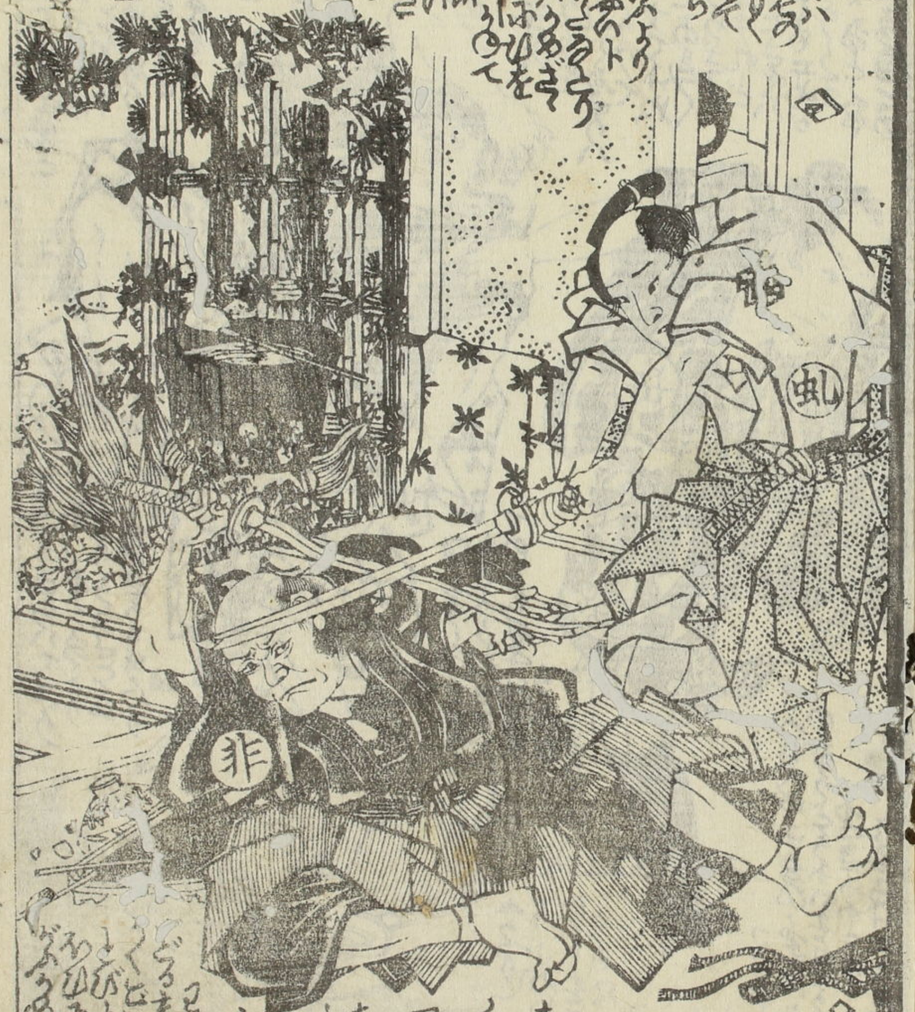
仙果錄
老國画
紅英堂梓

此初編發兌の前後ハ僕田舍に在しかば外題の下画もとらるゝと版元が案ゐて天保丑春の繪草紙坂東太郎後世譚の三編に信乃見八が屋棟の組打有なれり翁の筆なるが又彼振がよいとの註文程近くて同繪組も手がる薄き様なりと咳きなるゞ再ことゝ然ども往年に引盃活るが如き本所の妙筆犬の艸紙の大當ハ全件の外題の故にて作者ハ如ぬ太刀の功名船へどろさり落をとり芳流閣の本文に志ぢらくの間に到ることも御ひいきのお蔭ハ勿論原書の佳好と画工の丹誠又板元の耳朶にて犬と歌の申年初編の販出ひらがなりが犬の背で祖の軽業一概にハいはれぬものにて却て犬ハ友嚙のひいきでも合巻の繁昌故と嬉しきにも今年ハ戌の歳に當り九月より賣出て新版尾をふることに十増倍にて犬々と御求狗児あがりの拙作者御とりまでを願ふにあるむ

嘉永三年戌春新刻

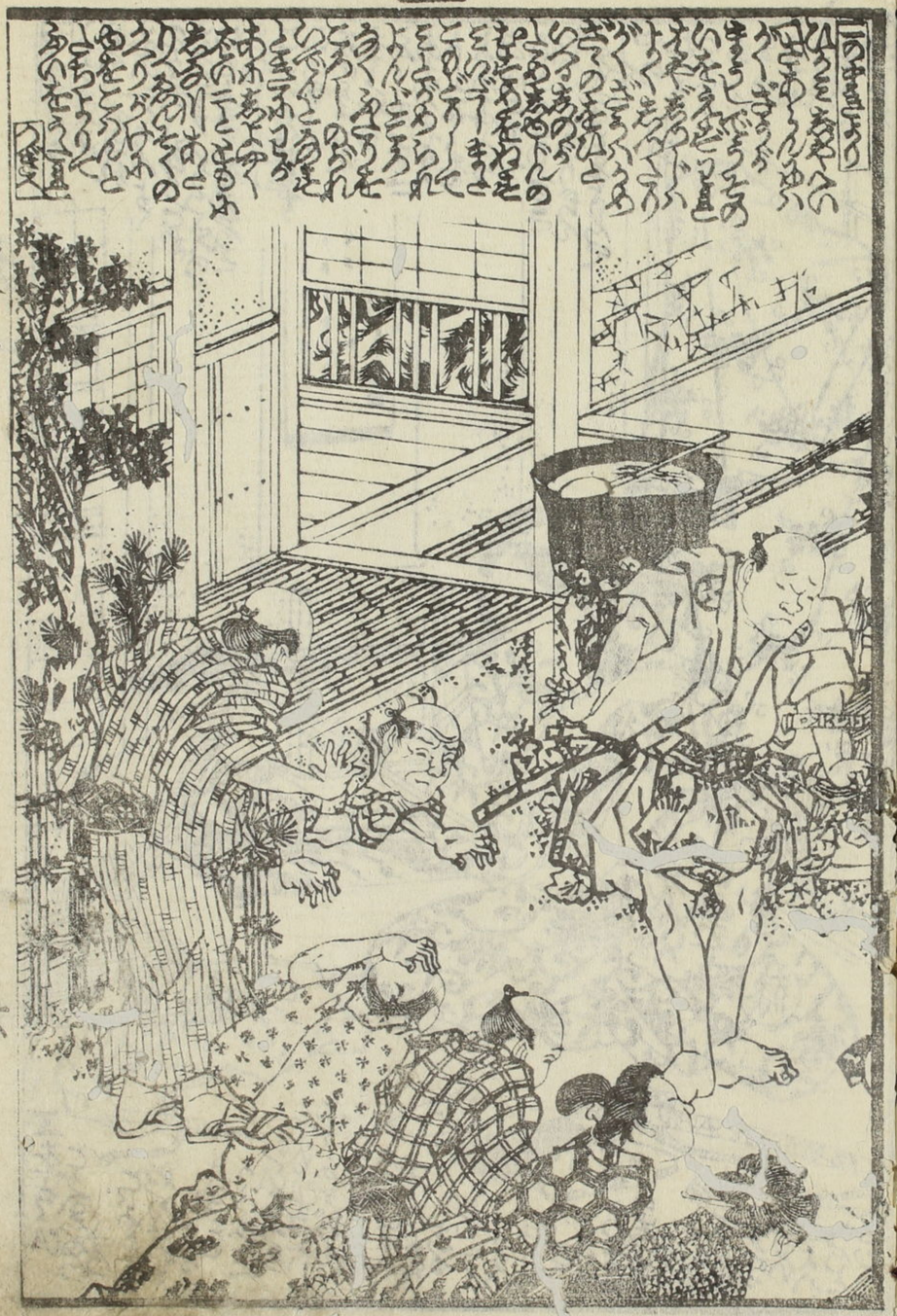
笠亭仙果

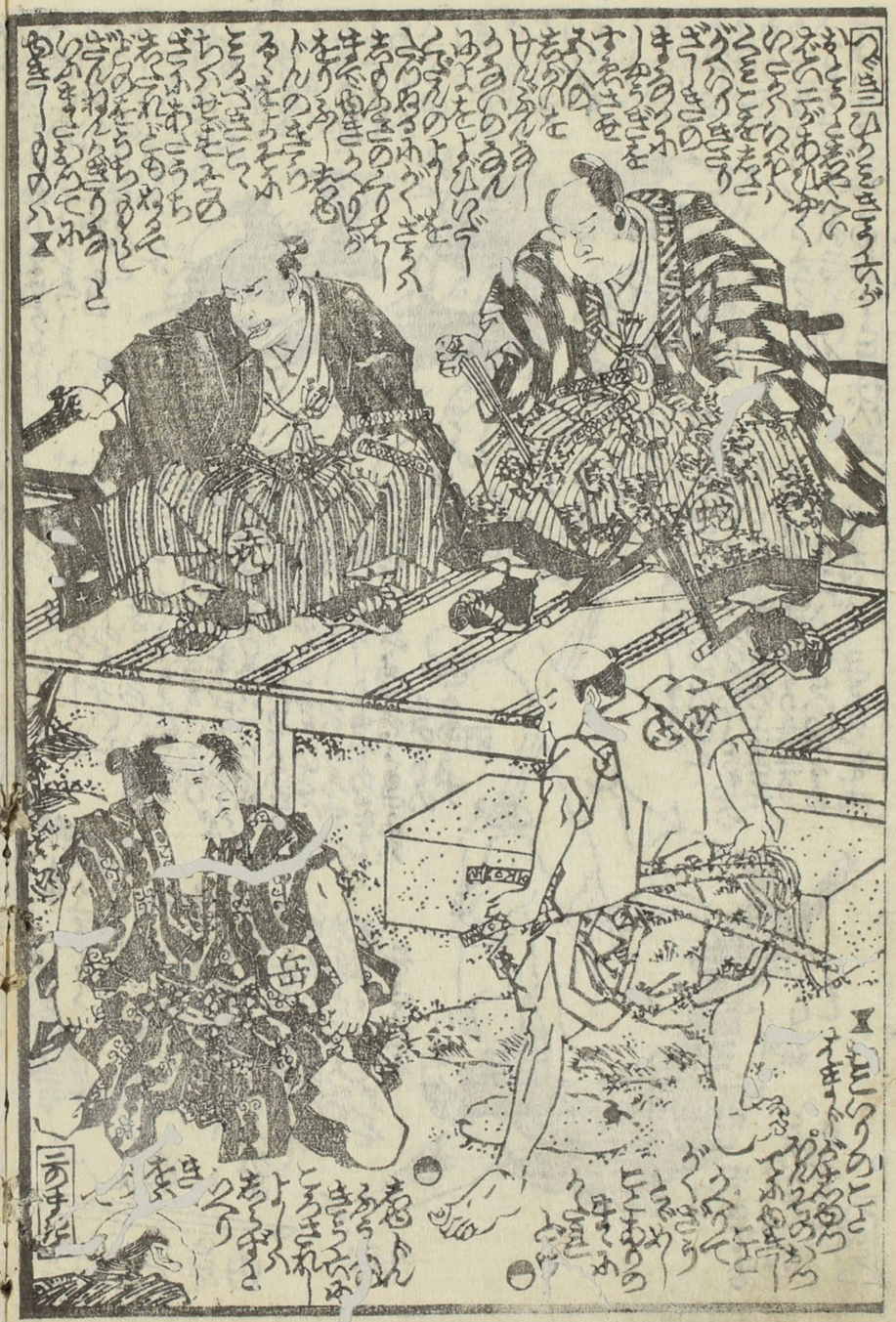
嫁

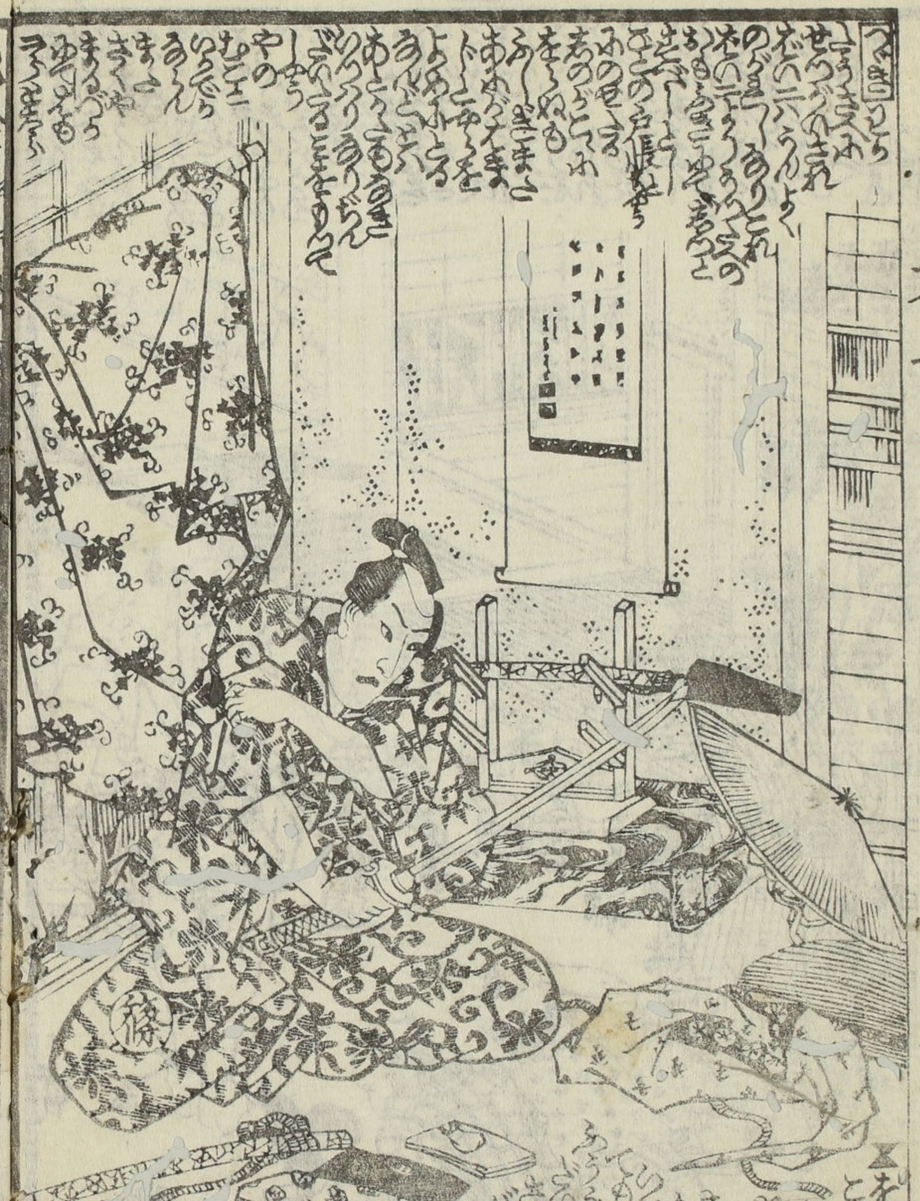

虫
非

媒
岳

虻







つゞき

犬須賀篠児戍孝

攻竜閣上に活路を索る圖

無名えり
おしろい
きろ・ちるき

一袋
四十八文

○地本
錦繪
板元

中たし南傳馬町一丁目
紅英堂 蔦屋吉藏
けいえ本ゑ品々

清葉
おしろい
白英蓉
一包三十六文

同薦
げせう
曙富士
一包三十六文

世ゑ当ひ流
おしろい
はくら香
一包廿四文

笠亭仙果鈔録
一陽齋豊國画圖

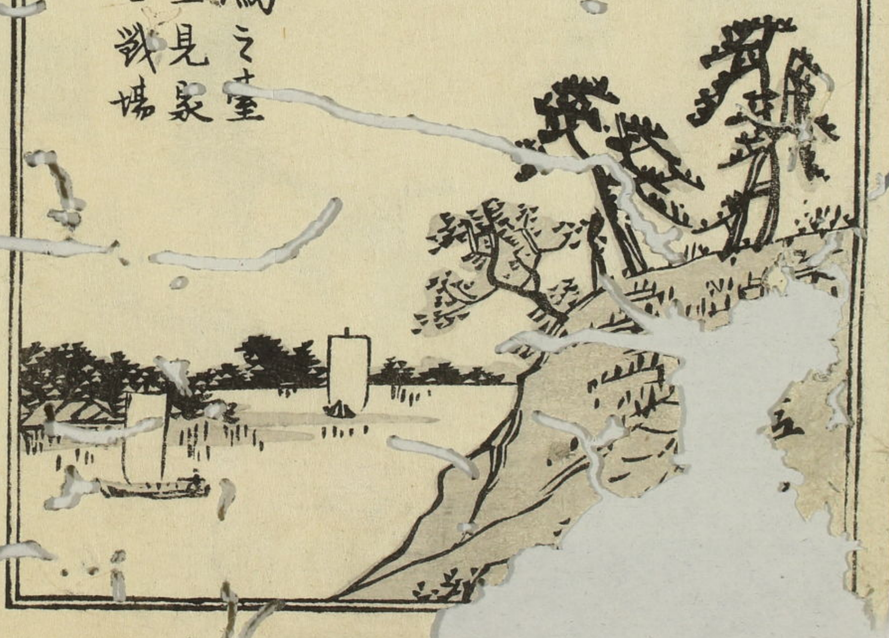
一名八犬傳
犬の
艸紙
一陽齋豊國画
十編下

雪梅菊偉太之双奇十編六冊

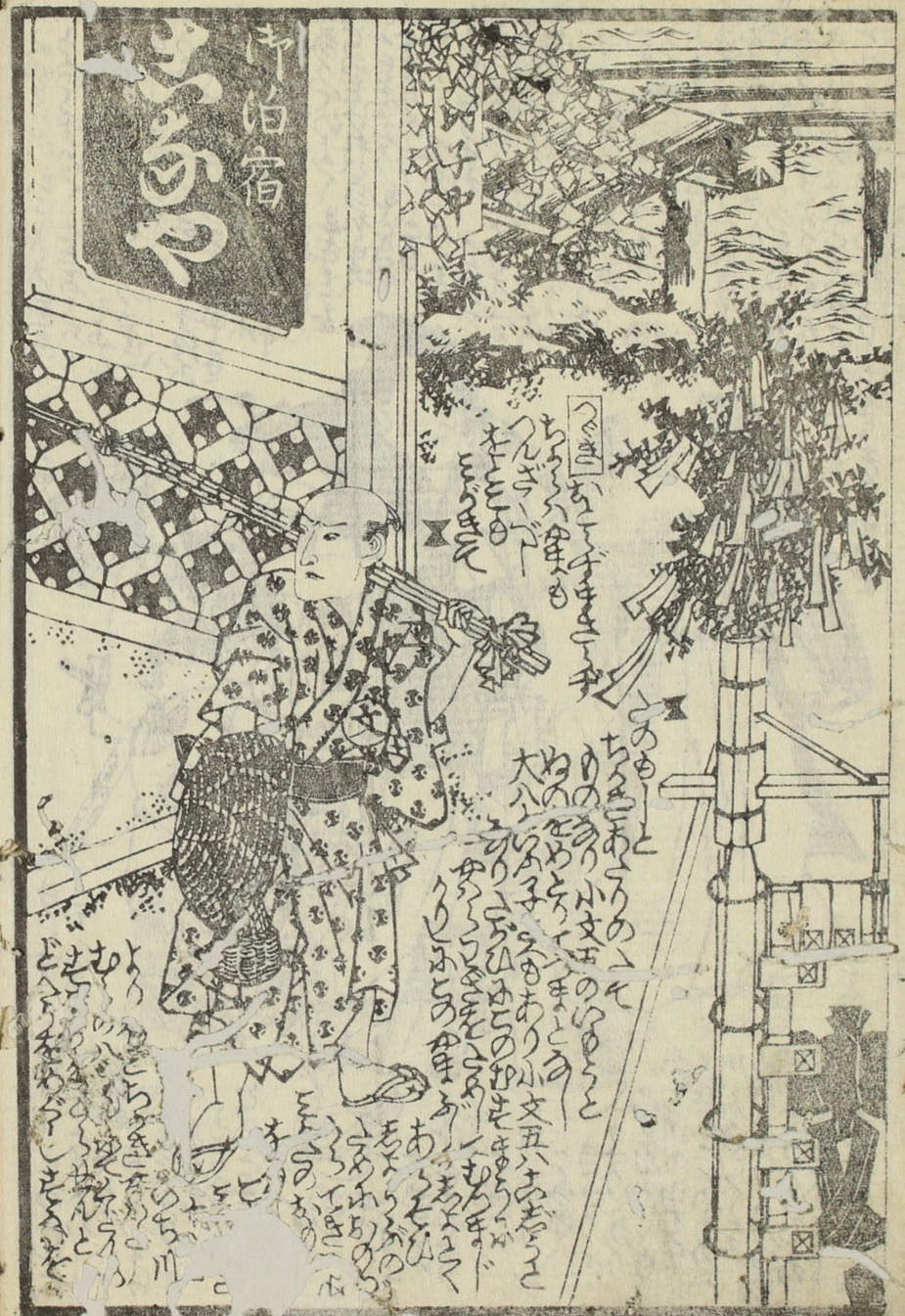
仙泉錄

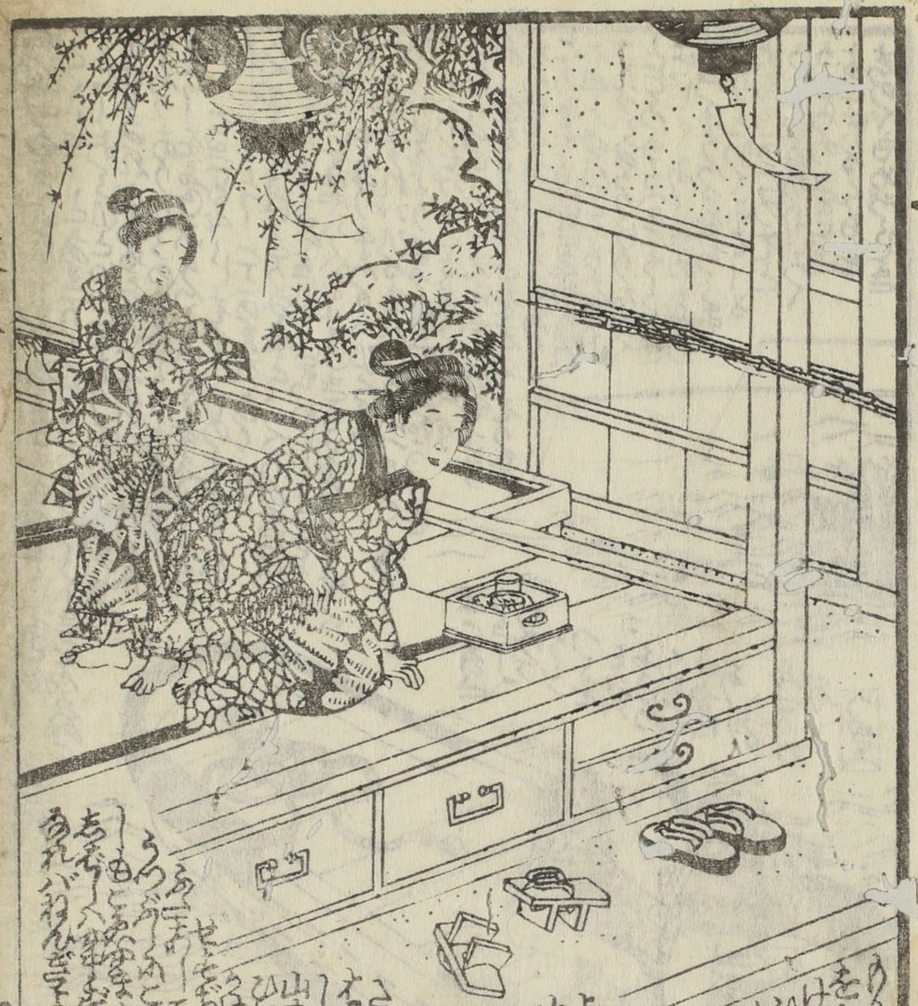
長田畫

玉英堂梓



芳流閣ハふりの組うちは[illegible]
代[illegible]流を意をもてつけ[illegible]名ゟお
[illegible]多少の英雄俊傑ゟ[illegible]名を
あづ[illegible]ころハこの閣のこゝにうぢるにあ
らしバ戯半分文字をゝ呉音まじり
に放龍とあるハ在村能を忌人を
いるの器あくてあつて龍をかつの意
あり地名人名これらなどきらへるとか
みじことそのまゝおきて害ゆ目
あらぜかへて手ぶらにあるあらぜ
鈔録物の興あさに倦じくく保
養の筆轉業別意
あるにあらぜ


宿泊
ふるや
女子



本家 實母散
中橋南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝浦製

御免痂積湯 せんきの妙薬
御用藥所 信州上田東山堂製

せんきの妙薬
中橋南傳馬町二丁目
蔦屋吉藏

無るは えりおろい 七川ち里 一袋 四十八銅
御薬おろい 白美蓉 一包 三十六文
むるい あがり おろい きくらい香 一包 廿四文
同 屠 曙乃冨士 一包 同 彭